

科目名 (科目番号)	家族看護論	教員名 野田智子	学科等	看護	選択	履修年次	2
	(時間割参照)		曜日・時限等	時間割表参照		単位数	1
			授業形態	講義	オフィスアワー	授業開始時提示	
授業概要	看護の対象としての「家族」とは何かを考え、健康を軸として考えた個人、家族、地域社会との関連について学ぶ。また、家族の一員が健康問題を抱えた際の家族へ与える影響と、看護専門職者としての援助方法について考える。						
目的・目標	目的:家族を看護の対象とし、家族が本来有する機能と家族の健康に関するケア機能を高める援助について理解する事ができる。 目標:①家族看護学の定義、目的、具体的な援助の方法について理解することができる。 ②家族看護の主な理論や実践モデルについて理解することができる。 ③家族の健康に対する看護支援について理解することができる。						
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。						
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1	家族看護とは	到達目標:家族の概念、家族看護を必要としている家族について理解できる。 学習内容:家族の考え方、なぜ家族看護を学ぶのか、家族看護の目指すところ、家族看護を必要としている家族について学習する。				
	2	家族看護の対象①	到達目標:家族構造とは何か理解できる。家族構造を把握する方法にと活用方法について理解できる。 学習内容:ジェノグラム、エコマップの作成演習。				
	3	家族の対象理解②	到達目標:家族機能とは何か理解できる。現在家族の特徴を理解し、課題について考えることができることを身近な例を基に考えられる。 学習内容:家族の育児機能、セルフケア機能、社会における家族機能について学習する。現在家族の様相を学習し、身近な例を基に現代家族の課題につディスカッションする。				
	4	家族を理解するための理論	到達目標:家族を理解するための理論について理解できる。 学習内容家族発達理論、家族システム理論、家族ストレス対処理論につい事例と結び付けて学習する。				
	5	家族看護の展開方法	到達目標:家族看護の展開方法について理解できる。 学習内容:家族看護の情報収集、アセスメント、看護問題の明確化、看護計画の立案、実施・評価について学習する。				
	6	事例展開	到達目標:提示された家族の健康上の課題に気づき、援助方法を検討できる。 学習内容:事例への展開方法を学ぶ。				
	7	事例展開	到達目標:提示された家族の健康上の課題に気づき、援助方法を検討できる。 学習内容:事例への展開方法を学ぶ。				
	8	まとめ	授業の振り返りとまとめ・テスト				
成績評価の方法・基準	試験60%、提出課題で40%で評価します。正当な理由がなく本試験を欠席した場合は、再試験を実施しません。						
教科書	《系統看護学講座 別巻》 家族看護学		上別府 圭子他		医学書院		
参考図書	家族看護学 理論と実践第4版		鈴木和子・渡辺裕子		日本看護協会出版会		
教員からのメッセージ	授業を通して、自分の家族や人との関係性について考える機会にしましょう。受け身にならず自ら学ぶ時間になるよう工夫していきます。総合病院や教育施設で勤務した看護師がこの授業を担当します。 オンライン授業に伴い授業計画に変更がある場合は、オンラインクラスで変更のシラバスを周知いたします。						